

小宮山弘道編  
啓蒙博物學

三

福岡第一師範學校  
(學校圖書)

登錄 番	第	號
自然科學部		
生物學部		
種記	款	項
目次		
全	冊ノ内第	冊
分類 番	第	號
460.0		

按分範師  
書博物  
一般

5冊ノ内

044202

圖書 和圖書 遡



a 1 3 8 0 3 2 6 5 3 5 a

福岡教育大学蔵書

T 1A1

46

Ko 65

小宮山弘道編

中帙

啓蒙博物學

東京 金港堂藏版

植物綱目略

單子葉植物類

第一禾本科

莖ハ概子中空ニシテ

啓蒙博物學卷三

小宮山弘道 編

單子葉植物類

禾本科

名稱 稻

部分 根鬚毛ニ似タリ、○莖中空ニシ

テ關節アリ、○葉ハ單一ニシテ、細ク

長シ、○花白色ニシテ花梗長シ、○實

ハ殼ヲ被リテ、莖頭ニ登熟ス之ヲ穗

ト云フ、一穗ニ數百子ヲ附着ス、○糲

稻



輪狀ノ關節ヲナシ、葉ハ前方ニ於テ、分裂スル所ノ葉鞘上ニ位シ、二列ニ直生ス、形、單一圖長ニシテ、細長ノ脈絡ヲ有シ、葉片ノ底基ニ、小葉皮ヲ具フ、花ハ複性ノ花部上ニ於テ、二列ノ穎ニ擁抱セラ

ル、花包ハ矮縮シテ、小  
**性質** 初夏播種シ、秋晚登熟ス、水田ニ作ル者アリ、陸地ニ作ルモノアリ、唯其種ヲ異ニスルノミ、我國水田ニ作ルモノ多く、且米質良善ニシテ、味旨久、貯藏久キニ耐ユ、糯ハ粳ト少シク異ナリ、粒微シク肥大色、一層白ク、粘性最モ強シ、而シテ、粳ハ赤色或ハ白芒アル者アリ、或ハ

鱗狀ヲナス、而シテ多

クハ雄蕊三個ヲ具ヘ、

果實ハ穀果ニシテ、果

**種類** 粳糯共ニ早稻、中稻、晚稻合シテ、

被子被共ニ癒着ス、種

**效用** 吾人、日常ノ食タルハ勿論、酒、麴

子ハ澱粉質ノ胚乳ノ

酢、皆之ニテ製ス、糯亦其用廣シ、

名稱

麥

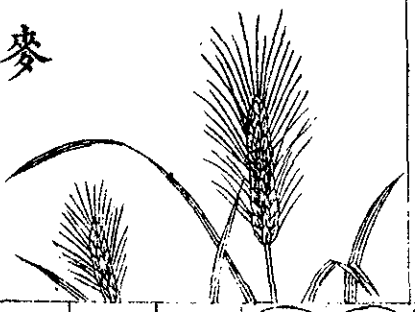
**部分** 莖中空、根鬚毛ニ似タリ、葉單一

細長ニシテ、粳糯ノ葉ヨリ、柔カナリ、

○花梗長ク、實、穀果ニシテ、殼ヲ被ル、

麥

芒アリ、其長キハ、大麥裸麥ニシテ、短



保含シ下垂ニシテ側  
邊ニ小芽アリ黍稷粳  
糯小麥大麥雀麥裸麥  
穆粟玉蜀黍蜀黍甘蔗  
蘆粟竹蘆等此科ニ屬  
ス

キハ小麥ナリ○穗莖頭ニ位シ數百  
子之ニ鱗次附着ス

性質 初冬ニ播種シ初夏成熟ス貯藏  
久キニ耐ヘ難シト雖蟲損ノ憂ナカ  
ラシメバ數年ノ蓄ニ備フベシ

種類 其數頗ル多ク就中近來歐米各  
國ヨリ舶載スル者少ナカラズ

効用 大麥裸麥雀麥ハ粳ニ代ヘ或ハ  
粳ニ交ヘテ食料トスベク又釀造シ  
テ酒トナスベシ小麥ハ挽テ粉トナ



シ、麩ニ製シ麵包ニ製シ饅飩ニ製シ  
必要ノ食物トナス皆其用大ナリ

名稱 竹

部分 根鬚毛狀密生シテ間隙ナシ匍  
匐根ハ旁行蔓衍シテ每節鬚根ヲ生  
ジ筍之ヨリ出ツ○幹中空ニシテ圓  
ク直立ス枝一節毎ニ生ズ○葉狹細  
披針狀ニシテ長キハ五六寸周圍ニ  
至微ノ鋸齒アリ

花勢盛ナルキハ咲カサレ氏數舊

第二天南星科

葉ハ多ク柄ヲ有シ、共

ニ廣濶ニシテ、間、分裂

ス、華部ハ栓狀ニシテ、

苞葉ヲ有セス、巨大ナ

ル下ニ花鞘ヲ具ス、花

ハ兩性或ハ一家ニシ

テ裸出シ、或ハ葇様ノ

花苞ヲ有ス、果實ハ上

立性漿果ニシテ、種子

ケレバ、花サクイアリ、竹咲クヲ一生

トス、咲ケバ、必ズ枯ル

種類

苦竹、淡竹、江南竹、斑竹、紫竹、方竹、

メダケ、ス、タケ、カンチク、烏竹、人面

竹、鳳尾竹、等ナリ、

性質

生地ハ黑壤肥鬆ニシテ、砂石ヲ

交ヘ、卑濕ノ地ヲ喜ム、故ニ河堤溪頭

ニ生暢スル者最多ク、溫地ニ適シ、寒

地ニ適セス、

効用

家屋河渠、水防ノ用ニ充ツベク、

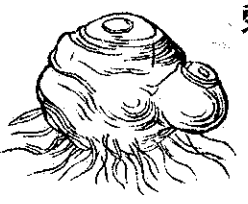
ハ胚乳ヲ包含ス、溫帶  
地方ニ産ス、

白菖、半夏、天南星、芋、藟

藟等ノ種ハ皆此科ニ

屬ス

藟、藟



農工諸用、及ビ日用ヲ便ス、効用勝テ  
言フ可カラズ、又筍ハ食用ニ供ス可  
シ、

天南星科

名稱

藟、藟

部分

根塊圓クシテ扁平、細根鬚毛ノ

如シ、其外紫黑色ニシテ、内白色ナリ、

○莖綠色ニシテ、紫黑點多シ、柔カナ

ル、青芋ニ似タリ、○葉鰭狀ノ欠刺

アリ、數又ヲナス、○花ハ佛焰軸雌雄



第三棕櫚科

ヨリ成ル

單一ノ木幹ニシテ葉

効用

根ハ之ヲ挫折シ、或ハ粉末シ、以

ハ扇狀或ハ翼狀若シ

テ食用品ニ造ルベシ、

クハ鱗形ヲナシ、花ハ

棕櫚科

名稱

棕櫚

部分

根、命根深穿スルヲナク、細根繁

生シテ、團塊ヲナス、○幹直立性ニシ

テ、外面茶褐色ノ毛苞アリ、每葉ヲ保

護ス、○枝條ナシ、○葉幹頭ニ攢簇ス、

形團扇ノ如シ、○花、初夏葉間ニ黄苞



棕櫚

分支スル所ハ栓頭ニ

位シ、一家又ハ二家ヲ

ナス、萼様ノ花苞ヲ具

ス、果實ハ上立性漿果、

若シクハ石果ニシテ、

一房又ハ三房ヲナシ、

許多ノ胚乳、及ビ微細

ノ小芽ヲ有ス、回歸線

内ノ植物ナリ、

棕櫚、椰子、檳榔ノ種族、

ヲ發ス、狀チ魚鰭ノ如シ、色、淡黄ナリ、  
○實、花褪シテ後ニ結ブ、大サ豆ニ似  
タリ、

性質

肥鬆微濕ノ地ニ適ス、南天温暖

ノ地ニ植ウレバ、成長シ易ク、北天ニ

植ウレバ、之ニ反ス、

効用

材ハ屋柱ニ用フレバ、雅致アリ、

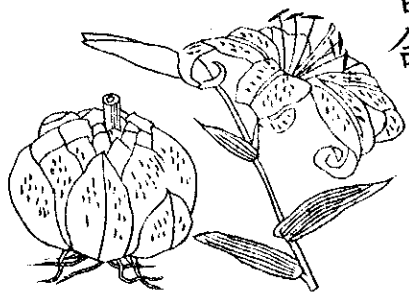
皮毛ノ用ハ、繩料、掃子等ニ用ヒ、日常

ノ必需、誠ニ廣シ、

百合科

此科ニ屬ス、

百合



第四百百合科

葱根性ノ植物ニシテ、  
線狀又ハ弧狀ノ脈理

名稱 百合

部分 根、片々鱗次ス、鱗根ト稱ス、○莖

直立ニシテ、色深紫色アリ、綠色アリ、

○葉莖圍ニ出ヅ、形チ、竹葉ニ類シ、深

緑柔軟ナリ、○花、百合形ニシテ、色、紅

アリ、白アリ、一樣ナラズ、○實、紫褐色

ニシテ、形、卵ノ如シ、

性質 耕圃或ハ花園ニ栽植シ、或ハ根

ヲ食ヒ、或ハ花ヲ樂ム、其根ヲ食フ者

ハ、實熟スルノチ、苗床ヲ造リテ、播種

アル單葉ヲ具フ、花ハ

兩性ニシテ美麗ナリ、

正形二列六數ノ花瓣

ニ似タル苞ヲ有ス、果

實ハ上立三房ニ房裂

シ、種子ハ胚乳ヲ有ス、

百合、葱、貝母、紫萼、屬

種之ニ隸ス、

第五薑科

球根莖ヲ有シ、葉ハ廣

シ、翌春移植シ、第三年ニ至リ、始メテ  
圃ニ植ヘ、成熟ヲ俟テ、食用トナスナ  
リ、

種類 「フニユリ」「ヒメユリ」「サハユリ」シ

マユリ等、種類多ク之レアリ、

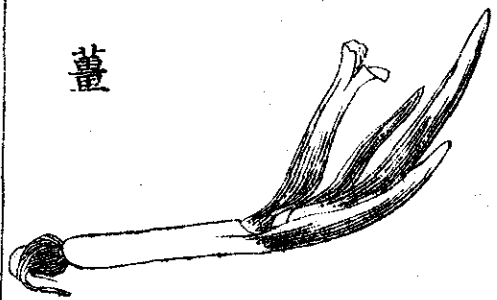
効用 根ハ蒸煮シテ食ス、味佳ナリ、上

饌ニ供スベシ、

名稱 葱

部分 根、白色ニシテ、球形ナルアリ、又

ハ圓柱狀ナルアリ、皆下部ニ鬚根アリ



潤ニノ脈絡蘆様或ハ  
並行縱線ヲナシ花部ハ  
下立ニメ包葉ヲ具ヘ花  
苞ハ不正形ナリ雄蕊ハ

リ、○葉、莖、共ニ圓長空洞ニシテ、米  
 リ、葷臭アリ、色、緑ナリ、○花、莖頭ニ小  
 白黃花旗リ開キ、相集マリテ、一圓ヲ  
 ナス、○實、微小ニシテ、黑色ナリ、

性質 菜園ニ栽培シ、四時食用トスベシ

夏日、莖頭ニ花ヲ開ク後子實ヲ結ブ

種類  
一本葱、洋葱、漢葱、冬葱、才木子ギ、

タマ子ギ、ナツ子ギ、岩槻葱等アリ、

効用 葉根共ニ煮テ食フベシ

薑科



花辦様ニノ果實ハ下

立三房、覆果ナリ、種

子ハ胚乳ヲ含ミ熱帶

地方産ノ植物ナリ、叢

荷、燃、燄、金、畫、雲、華、芭、蕉、

種屬皆之隸不

名稱  
薑

根横ニ相聯リ蔓リテ、列指ノ如

皮薄フシテ、鬚根多シ。○莖、莖本赤

クシテ直立シ、外皮ノ之ヲ覆フ。恰

モ蘆笋ノ如シ。○葉細長ニシテ、末尖

レリ、一種ノ快臭アリ、

性質 春晚種子ヲ種ハ夏月新根ヲ生

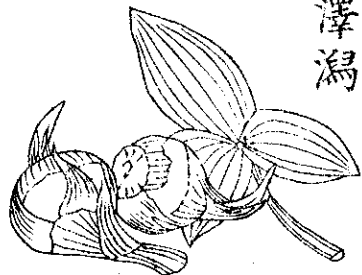
不、秋天花アリ、霜後ニ成熟ス、色白黃

色味辛辣

効用  
日常香料ノ一品トス又藥劑ニ



澤瀉



供用スベシ

澤瀉科

名稱 慈姑

部分 葉箭頭狀ニシテ末尖ル○莖葉

間ニ抽テ高さ二尺許アリ○花白色

雄雌異花ナリ○根球形ニシテ皮厚

ク淡青色ナリ芽ノ上部ニ鬚根ヲ生

ズ

性質 泥沼ニ生ジ冬春其根ヲ採ル故

サラニ栽培ヲ要セズシテ熟スル者

第六澤瀉科

泥沼或ハ水中ニ生ス

ル植物ニシテ葉ハ弧

狀若シクハ網狀ノ脈

絡ヲ有シ花ハ正形ニ

レテ兩性或ハ一家ナ

リ外側ノ花苞ハ萼様

ニシテ内方ハ花冠様

ナリ

種類 「クロクワイ」「マメクワイ」「トバエ

クワイ」等ノ種類アリ

効用 食用ニ供ス味美ナル者ナリ「ク

ロクワイ」ハ生熟共ニ啖フベシ

雙子葉無瓣花植物類

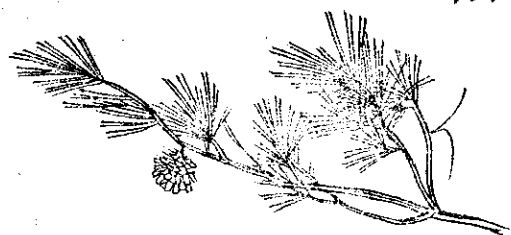
松柏科

名稱 松

部分 根肥大ニシテ地下ニ直入シ旁

根這出シテ最モ交錯ス○幹直ニ昂

松



ヲナス、雌蕊ハ數多ニ  
シテ上立シ種子ハ胚  
乳ナク、子葉ハ曲生ナ  
リ、澤瀉、慈姑ノ種族、此  
科ニ屬ス、

雙子葉無瓣花植物類

第一松柏科又鍼葉

樹科

華爾斯質ニ富メル喬

聳高サ、數十丈ニ及ブ、瘠地ニアルモ  
ノハ、矮曲跼蹐高サ、數尺ナル者アリ、  
外皮赤黑等アリ、或ハ鱗狀ヲナス者  
アリ、○枝四出車輻狀ナリ、葉形チ釵  
ヲ倒立スルガ如シ、葉末刺ヲナシ、最  
モ銳シ、○花雌雄アリ、春初新緑ニ附  
生ス、○實卵圓ニシテ、鱗砌ヲナス、秋  
季、鱗砌拆ケ、子落ツ、茶褐色ニシテ、麻  
子大ノ如ク、翅羽アリ、

性質 山土、眞土皆生ス、燥ヲ喜ビ、濕ヲ

木及ビ灌木ニシテ、葉

ハ通常針形ヲナシ、常

緑ナルモノ多シ、花ハ

一家或ハ二家ニシテ、

葉莖花ヲナシ、或ハ裸

出ス而シテ、雌花ノ葉

莖ハ被鱗及ビ大ナル

實鱗ヲ有シ、卵子ハ基

底ニ於テ特生ス、果實

ハ圓錐果ニシテ、種々

惡ムガ故ニ、高陽ノ地ニ適シ、卑下ノ  
地ニ宜シカラズ、

種類 赤松、黑松、落葉松、ヒメコマツ、海

松等ノ種族アリ、

効用 材質長大挺直、負重不撓ナルガ

故ニ、棟梁、船艦、橋梁、器械等ニ用フル

ニ宜シ、又脂質多キヲ以テ、隄礎、殺水

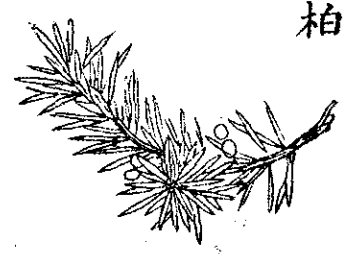
杭ニ用キテ利アリ、其他、用方廣シ、

附説 松柏ハ百木ノ長タリ、而シテ、松

ハ猶、公ノゴトク、柏ハ猶、伯ノゴトシ、

ノ形狀ヲ有シ種子ハ  
胚乳ヲ有ス

仙柏



松杜松側柏水松落葉  
松松樅銀杏扁柏鐵蕉

故ニ其字公ニ從ヒ伯ニ從フト字說  
ニ見ヘタリ

名稱 仙柏

部分 幹端直高サ四五丈圍八尺許ニ  
至ル皮灰白ニシテ軟カナリ○枝繁  
稠小枝ハ翠色ニシテ堅カラス○葉  
深翠ニシテ細ク厚シ長三寸幅數分  
ナリ○花雄雌アリ實楮圓ニシテ累  
生ス上ナル者ハ色青黄ニシテ大豆  
大ナリ之ヲ種子トス下ナル者ハ紅

ノ種族之ニ屬ス

色ナリ之ヲ肉トス

性質 到ル處産スト雖モ能ク繁殖ス  
ルハ暖地ナリ

種類 羅漢松俗楨カウヤマキ又金松  
アリ

効用 桶及ビ匣箱ノ類ニ造リ木理最  
モ佳ナリ又内皮ヲ鋸トナシ船及ビ  
桶等ノ間隙ヲ填塞ス又垣ニ造リ庭  
木トナシ其用廣シ

附說 羅漢松ノ名アルハ果實ノ狀恰

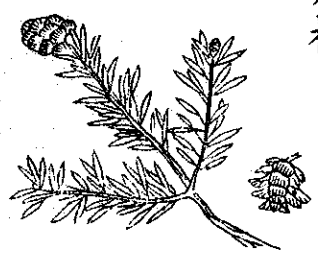
モ、衲子ノ袈裟ヲ被ルニ似タルニ因ルナリト、

杉  
名稱 杉又相



部分 幹直立高ク聳ヘ高サ十數丈圍數丈ニ及ブ者ナリ、○枝頗ル稠密四方ニ散出ス、其位置地平ナリ、○葉嫩枝ニ密生シ、末尖リテ、刺狀ヲナス、○花雄雌アリ、枝頭ニ粟大ノモノヲ簇生シ、黄粉ヲ着ク、是レ雄ナリ、雌ハ小圓ナリ、○實、花ト同時ニ結ブ、狀小鈴

水松



ニ似タリ、

性質 此樹處トシテ生ゼサルナレト雖モ、黄土、赤壤ニ能ク適シ、斥鹵、砂地ニ適セズ、

効用 家屋、船艦、橋梁ヨリ、日常ノ器具ニ至ルマデ、凡ソ、此樹木ノ用ハ最モ多シトス、誠ニ有用ノ材ナリ、

名稱 水松 俗櫟

部分 幹端直、高サ五六丈ニ及ブ、枝密生ニシテ、小枝多シ、○葉形ナリ、櫟ニ似

第二楊柳科

喬木或ハ灌木ニシテ、  
葉ハ互生シ、花ハ二家  
ニシテ、葉莖花ヲナシ、  
一ノ苞葉ニ丈持セラ  
レ、花苞ハ盂狀ヲ爲シ、  
或ハ矮縮ハ果實ハ上  
立性多子ノ覆果ニシ  
テ種子ハ毛茸ヲ有シ、  
胚乳ナク、直生小芽ヲ

テ較小サク、面深翠ニシテ、背淡シ、末  
尖リ刺ヲナス、○花雌雄アリ、枝梢ノ  
葉腋ニ櫛簇綻開ス、○實小圓粒ニシ  
テ、始メ綠色、熟スレバ紅色トナリ、外  
觀美麗ナリ、肉味甘シ、食スベシ、

性質 地ノ寒暖ヲ問ハズ、深山ニ生ズ、  
飛驒位山ニ産スルモノ、最モ名アリ、

効用 木質堅ク、木理雅ナリ、諸器具ヲ  
造ルニ用フ、近來被笠帽子等ヲ製ス、

附説 古者此材ヲ以テ貴紳ノ笏ヲ作

具フ、

柳白楊ノ種族之ニ屬  
ス、

第三樺木科

喬木及ビ灌木ニシテ、



扁柏

ル、因テ、樹木ニ一位ヲ贈ラルト、此樹  
木ヲ稱シテ、イチキト云ヒ、飛州内、此  
樹木ノ產地ニ、位山ノ名アルハ、蓋シ  
之ガ爲メナルベシ、

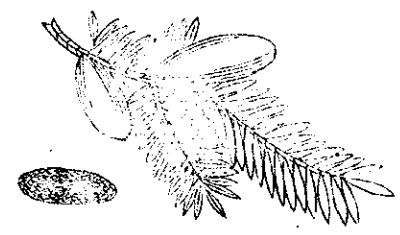
名稱 扁柏 俗檜

部分 幹端直高シ、聳ユ、高サ十餘丈ニ  
達ス、○枝密生、枝梢ニ小分枝ヲ生ズ、  
新杪緑ニシテ軟カナリ、○葉頭微シ  
ク尖リ、下、漸ク扁濶ニシテ、小枝ニ鱗  
次附着ス、色深翠ナリ、○花雌雄アリ、

葉ハ互生シ花ハ一家  
 ニシテ葉莖ヲ爲シ一  
 ノ苞葉ニ支持セラレ  
 雄花ノ花苞ハ鱗狀或  
 ハ萼狀ヲナシ雌花ノ  
 花苞ハ欵如ス果實ハ  
 單子ニシテ種子ニ胚  
 乳ナシ  
 樺木赤楊楊梅ノ種  
 族皆之ニ隸ス

小枝頂ニ開ク實形正圓ニシテ小  
 サク外面鱗砌ヲナス始メ色深青熟  
 スレバ黃褐色ヲナス  
 性質 深山ニ生スル者喬大ヲ致シ高  
 陽地ニ生スルモノ材質堅良ナリ木  
 曾山中ニ生スルモノ最モ名アリ  
 効用 材質白色堅固ニシテ建築製造  
 ノ料ニ施ストシテ良カラザルハナ  
 シ  
 名稱 樺

樺



第四殼斗科

喬木若シクハ灌木ニ  
 シテ葉ハ互生シ翼狀  
 ノ脈絡ヲ有ス又脱落

部分 幹喬大ナル者數丈ニ至ル葉水  
 松葉ニ似テ大ナリ色深緑尖頭刺ヲ  
 ナス○枝繁密ナリ花粟粒大ニシテ  
 春初枝梢腋ニ着ク黃ナルモノ雄ナ  
 リ緑ナルモノ雌ナリ○實橢圓ニシ  
 テ長サ寸許初メ青シ熟シテ紫赤色  
 トナル榧子ハ即チ此中ニアリ  
 性質 溫暖微濕ノ地ニ適ス人ノ栽培  
 ニヨラズ自生スル者稀ナリ  
 効用 材ハ以テ諸器具ヲ造ルベク實



スル副葉アリ、花ハ一  
家ヲナレ、雄花ハ葉莖  
ベシ、  
ハ炒シテ食フべく、搾シテ油ヲ取ル

狀ヲナレ、雌花ハ莖葉  
ノ癒着スル者ヨリ成  
リタル、殻斗ニ擁包セ  
ノ名、蓋シ之ニ出デシナラン、  
ベシ、名ヅケテ、カヤリ香ト謂フ、カヤ

梅



〔部分〕 幹、真直ニ聳ヘテ、喬大ナリ、高サ、  
七八丈ニ達ス、○枝、肥大、小枝垂ル、○  
葉、水松ニ似テ、較大キク、末、鈍クシテ、  
手ヲ刺サズ、○花、葉背ニ小穗狀ヲナ

ラル、果實ハ下立性單  
子ノ堅殻果ナリ、種子  
ハ胚乳ナシ、  
榛、ハ又レデ、山毛櫨果、  
榲ノ種族、此科ニ屬ス、  
〔性質〕 深山ニ生茂シ、密林ヲ成ス、山城  
梅尾ニ産スル者、世ニ名アリ、

榲



〔効用〕 建築、艦材等ニ用ヒ、又製造ノ資  
料ニ供スベシ、  
〔名稱〕 榲、俗、榲  
〔部分〕 幹、枝、粗、梅ニ類ス、○葉、梅ニ似タ  
リト雖モ、尚大ニシテ、末、尖リ、刺ヲナ

第五蕁麻科

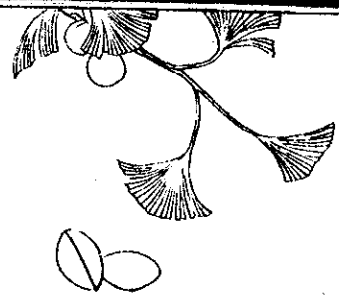
草本或ハ灌木ニシテ、  
花ハ兩性或ハ偏性ナ  
リ、葉莖莖或ハ總狀  
ヲナス、花苞ハ萼様ニ  
シテ、四裂若シクハ五  
裂ス、而シテ雄蕊ハ四  
個乃至五個アリ、實礎  
ハ離生ス、果實ハ單子  
ナリ、種子ハ胚乳及ヒ

ス、○花、小枝頭ノ葉腋ニ、小穗狀ヲナ  
シ、擧簇シテ開ク、黃粉ヲ附ク、○實、長  
橢形ニシテ、長數寸アリ、鱗砌容ニシ  
テ、鱗間二箇ノ種子ヲ載ス、

性質 土地ノ寒暖ヲ問ハズ、山中原野、  
皆アリ、樹性、燥土ニ適セズ、

種類 イラモミ、シラモミ、一ニ唐檜、シ  
ラベ、一ニ白檜、是レナリ、

効用 木理美ナラズ、乾濕ニ伸縮反張  
シ、又、裂ケ易シト雖モ、屋材、器具製作



公孫樹

直生ノ小芽ヲ有スル  
者アリ、或ハ胚乳ナク、  
螺旋形ノ小芽ヲ有スル  
モノアリ、

ノ資料ニ充テ、其用廣シ、

名稱 公孫樹

部分 幹、直生喬大高サ、六七丈ニ達ス、

○枝、稠密四出ス、○葉、形チ、鴨ノ脚ノ  
如シ、○花、春分ニ開ク、色、青白、雌雄幹

ヲ異ニス、雄ハ短小ノ葉莖狀ヲナシ、

雌ハ粒狀ヲナシ、相擧簇ス、○實、小杏

ニ似テ、黃色、霜ヲ經テ、爛熟ス、内ニ白

色ノ核アリ、

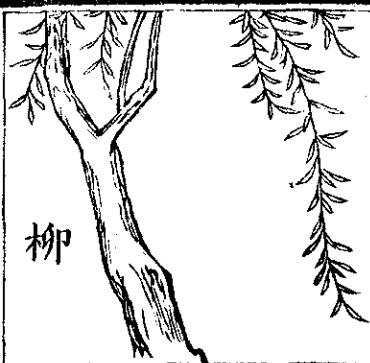
性質 平地ニ適シ、深山ニ生スルモノ、

麻等ノ種族此科ニ

属ス

第六桑科

木幹ニシテ多クハ乳  
液ヲ有シ葉ハ互生花



柳

稀レナリ、

〔効用〕 建築用ニ供スベシ、木理雅致ナ

ルヲ以テ、小器具ヲ造ルニ宜シク、又、  
印板トナシ、棋枰トナシテ、其觀美ナ  
リ、實ハ煨シテ啖フベシ、

〔附説〕 葉ヲ採リ、書籍ニ挾メバ、蟲蠹ヲ

防グベシト云フ、

楊柳科

〔名稱〕 柳

〔部分〕 幹喬大ナル者ハ高サ、數丈アリ、

ハ偏生ナリ、花苞ハ萼

様ヲナシ、或ハ矮縮ス、

實礎ハ下立性ニシテ、

果部ハ多汁質ノ花苞

ニ結束セラレ、擬果ヲ

白楊



○枝細カニシテ、下垂ス、○葉細ク、且

狭クシテ、披針狀ヲナス、○花、春日發

芽ニ先チ、細穗ヲ出シ、淡黃色ノ花ヲ

開ク、○實、細小黑子ナリ、

〔性質〕 卑濕ノ地ニ適ス、故ニ水邊ニア

ル者ハ、繁暢殊ニ著ルシ、

〔効用〕 木理雅致アリ、匣箱類ニ造ルベ

シ、又植木トナシテ、趣キアリ、

〔名稱〕 白楊

〔部分〕 幹、直聳前者ニ同シ、○枝、楊起暢

ナス、熱帶地方ニ産ス  
ルモノ多シ、

桑樹無花果樹ノ種

類之ニ隸ス、

赤楊



茂ス、○葉圓潤ニシテ、頭尖リ、狀チ梨

樹ノ葉ニ類ス、○花春初開葉ニ先テ、

葉莖花ヲ開ク、色、黄ナリ、

性質 陰濕ノ地ニ適ス、

効用 箱篋ニ造テ、頗ル美ナリ、故ニハ

コヤナ、キノ名アリ、

樺木科

名稱 赤楊

部分 幹高サ數丈ニ達シ、速カニ直生  
ス、皮淡黑色ナリ、○枝長大細枝稠シ、

第七榆科

喬木或ハ灌木ナリ、葉

ハ互生ニシテ、翼狀ノ

脈絡ヲ具ヘ、花兩性ニ

シテ、苞ハ萼様ヲナシ、

二裂乃至五裂ス、果

實ハ上立性ニシテ、單

子ヲ有シ、翼果或ハ石

果ニ属ス、種子胚乳ナ

ク、直生或ハ曲生ノ小

○葉橢圓形ニシテ、頭尖リ、大サ二寸

許、周邊細鋸齒ヲナス、○花冬、季葉腋

ニ蕾ヲ生ズ、紫赤色ニシテ、下垂ス、春

分ニ細花簇々トシテ開ク、雄ハ葉莖

狀ヲナシ、雌ハ然ラズ、○實大サ雀卵

ノ如シ、小鱗容疊シテ成ル、

性質 水濕ノ地ニ適ス、時々、枝條ヲ伐

採スルモ、成長ヲ妨ゲザルヲ以テ、農

家溝傍ニ植ヘ、境標トス、

効用 樹幹大ナル者ハ、板トナシテ、諸

芽ヲ有ス、  
榆朴ノ屬種ハ皆此科  
ニ屬ス、

用ニ供スベシ、枝條ハ時々伐採シテ、  
柴薪トナスベシ、又、内皮ハ染料トナ  
スベシト云フ、

殼斗科

名稱 栗

部分 幹數丈ニ達シ、圍七八尺ニ至ル

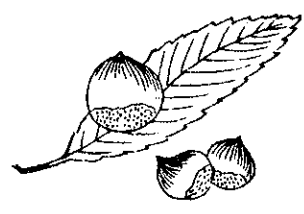
モノアリト雖モ、多クハ地ヲ距ル丈

餘ニシテ、枝柯ヲ四出ス、○枝頗ル粗

大トナル、○葉狹長披針狀ニシテ、周

邊ニ鈍キ鋸齒アリ、○花梅雨ノ候、青

栗



第八大戟科

草本或ハ木本ナリ、乳

液ヲ有シ、葉互生ナリ、  
花ハ一家二家ヲナシ、  
單一或ハ複合ニシテ、  
苞ニ擁包セララル、而シ  
テ、苞ハ萼様ニシテ、屢  
ニ列ヲナス、果實ハ三  
節ヲナシ、上立覆果ニ  
シテ、三子ヲ含包ス、種  
子ハ胚乳及ビ直生ノ  
小芽ヲ有ス、熱帶地產

黃色ノ小花無數、穗ヲ出シテ開ク、長  
サ三寸許、葉間ヨリ垂下ス、○實毬狀  
ヲ爲ス、刺多ク、蝟ノ如シ、初、綠色、熟ス  
レバ、赤色トナリ、殼破レ、子出ヅ、色紫  
赤ナリ、

性質 山野赤壤土ニ能ク適ス、

効用 木質硬固、永ク腐朽セズ、建築、造

船ノ材トナスベシ、實ハ食フベシ、又、

乾カシテ、之ヲ貯フベシ、

蓴麻科



大麻

ノモノ多シ

大戟、山靛、巴豆、蓖麻、黃

楊木、梓、ニリ、ハ種属

之ニ隸ス

第九蓼科

草本或ハ灌木ナリ莖

名稱 大麻

〔部分〕 莖方形ヲナシ、直立七八尺餘ニ

達ス、○葉掌形ニシテ、楓葉ニ似タリ、

○花雌雄、莖ヲ異ニシ、雄ハ枝梢ニ穗

狀花ヲ開ク、色白ニ淡緑ヲ含ム、雌ハ

梢頭ニ苞ヲ以テ子殻ヲ包ム、○實細

圓粒ニシテ、殼淡綠色、肉白シ、

〔性質〕 暖地ニ適シ、栽培宜キヲ得バ良

質ノ麻ヲナス、

〔効用〕 麻布、麻繩等、日常需用ノ品ヲ造



桑

ハ關節ヲ有シ、葉互生

ニシテ、葉鞘上ニ位ス、

ルベシ、

桑科

名稱 桑

〔部分〕 幹直生數丈ニ達スル者アリ、又

種類ニ由テハ、細直幹ノ叢生スル者

アリ、○根横ニ蔓リ、黃赤色ノ厚皮ヲ

被ル、○枝舒暢柔軟ナリ、○葉形圓ニ

シテ、頂尖リ、周邊鋸齒アリ、種類ニ由

テ、大小ノ欽刺アル者アリ、○花春日

開葉ニ先チ開ク、小ニシテ聚生シ、色

花ハ兩性ナリ、萼狀或ハ花冠狀ヲナシ、三乃至六分スル苞ヲ具ス、



果實ハ上ニ性單子ノ

堅殼實ナリ種子ハ胚

乳及直生曲生ノ小

芽ヲ有ス

蓼酸模大黃蕎麥

ノ種屬皆此科ニ隸ス

第十藜科

草本ナリ間灌木狀ノ

モノアリ葉ハ互生ナ

リ花兩性或ハ多性ナ

淡黃ナリ○實細子聚結シ覆盆子ニ

似タリ全體小指頭ノ如シ

性質

寒暖ヲ問ハズ能ク繁殖スト雖

モ喬大ナル者暖地ニ多シ粘埴土ニ

種類

近來養蠶術日ニ進ムヲ以テ各

家競テ良種ヲ培栽ス從テ其種多シ

効用

幹ハ器具ニ造ルベク葉ハ蠶ヲ

養フベク皮ハ紙ニ製スベク實ハ酒

リ花苞萼樣ニシテ五

分レ果實ハ膜管狀ニ

ニ釀スベシ誠ニ有用ノ樹木タリ

榆科

名稱

朴俗榎

部分

幹老木ハ高サ數十丈ニ至ル○

枝肥大ニシテ細枝密生ス○葉卵形

ニシテ頭尖リ周邊鋸齒アリ○花初

夏ニ開ク雌雄アリ細小黃色ナリ○

實正圓大サ豆ノ如シ熟シテ黃褐色

性質

山野高燥ノ地ニ適ス

榎



シテ單子ヲ有ス種子

ハ螺旋狀ノ小芽及ビ

胚乳ヲ有ス

藜、藜菜、鹹蓬、地膚、  
菠薐、種族ハ皆此科  
ナリ、

**効用** 木材ハ薪炭ノ料ニ供スベシ、實  
味甘シ、啖フベシ、

**大戟科**

讓葉木

**名稱** 讓葉木、又交讓木

**部分** 幹、直徑二丈餘ニ至ル、○枝、太ク



**第十一瑞香科**

灌木ナリ、間、艸本ノ者

皮色翠ナリ、○葉、長橢圓ニシテ、頭尖  
リ、長サ五六寸、幅二寸許アリ、○花、夏  
日、葉腋ニ長梗ヲ生ジ、白小花ヲ攢簇  
ス、○實、形チ豆ノ如シ、大サ、三四分ナ  
リ、

アリ、單生葉、及ビ兩性  
花ヲ有ス、花苞ハ花冠

**性質** 燥地ニ適セス、濕地ニ生スル者、

能ク繁殖ス、

様ニシテ、四裂縁ヲ具  
**効用** 木質白ク、肌理密ナリ、匣箱ノ類

ヘ、雄蕊ハ八個ニシテ、  
ニ造ルベシ、又庭園ニ植ウレバ、群ヲ

果實ハ上立性ノ漿果  
拔キ、頗ル壯觀ナリ、

或ハ石果ナリ、種子ハ  
**附説** 此樹ノ葉ハ、四時凋マズ、新葉已

微少ノ胚乳、及ビ直生  
ニ長シテ、舊葉始テ落ツ、故ニユヅリ

ノ小芽ヲ有ス、瑞香、結  
ハレノ稱アリ、世俗之ヲ吉祥トシ、新年

香莢花、百莖艸、白檀ノ  
ノ粧飾ニ用ユ、

種族之ニ属ス、

**蓼科**

蕎麥



名稱 蕎麥

部分 莖直生シテ尺餘ニ達ス、色、淡赤

ヲ帶ブ、○葉、心臟形ニシテ、頭尖リ、柔

軟ナリ、○花、白色ニシテ小サク、葉間

ヨリ梗ヲ生ジ、其頭ニ簇リ開ク、○實、

三稜形ニシテ小サク、暗褐色ノ殻ヲ

被ル、

性質 隨處ニ培養ス、七十五日ニシテ

登熟スルカ故ニ、一年ニ兩回若シク

ハ、三回收穫シ得ベシ、

菠薐



名稱 菠薐

部分 根蘿蔔ニ似テ細小ナリ、周圍ニ

鬚根ヲ生ズ、○莖、柔軟ニシテ淡青、根

際、赤ヲ含ム、○葉、長橢圓形ニシテ、末

微シク尖ル、至テ柔軟ナリ、○花、雌雄

莖ヲ異ニス、花、密ナル者ハ雄ニシテ、

疎ナル者ハ雌ナリ、○實、小サク稜刺

第十二樟科

喬木ナリ、葉ハ單一革

効用 種子ヲ挽テ粉末トナシ食用ニ  
供ス、

藜科

質ニシテ、屢ニ脈或ハ五脈ヲ有シ、花ハ細小相聚マリテ、一華部ヲナス、苞ハ萼様ニシテ、微シク色ヲ帶ビ、四個乃至六裂ス、而シテ雄蕊ハ瓣ニ由テ、開口スル所ハ粉囊旁ヲ具ス、果實ハ上立性ノ漿果或ハ石果ナリ、種子

アリ、色、灰白ナリ、

性質

隨處ノ圃地ニ播キ、善ク繁殖ス、

効用

葉、莖、共ニ煮テ啖フヘシ、味美ナリ、

瑞香科

名稱

結香

部分

幹、高サ七八尺ニ至ル、○枝皆三

叉ヲナス、○葉、細長楕圓形ヲナス、○

花、各枝端毎ニ、一朶ヅ、下垂シテ、簇

攢ス、形、チ、蜂巢ニ似タリ、色、外白ク、内

黄ナリ、

ハ胚乳ナシ、直生ノ小芽ヲ有ス、概シテ熟地ノ植物ナリ、

性質

暖地ニ適ス、

効用

此植物ハ、多ク纖維質ヲ有スル

ヲ以テ、製紙ノ原料ト爲ス、

樟科

名稱

樟 俗楠

部分

幹、老ナル者ハ、高サ、十數丈、圍、

數丈ナル者アリ、○枝、肥大ナリ、○葉、

圓ク大ニシテ、頭尖ル、大サ、二寸許、柄、

長シ、○花、立夏ノ節、小花ヲ開ク、梗上

ニ、攢簇ス、色、白ク、微黄ヲ含ム、○實、正

圓ニシテ、大サ、二分許アリ、熟スレハ、色、黒ニシテ硬シ、

性質 性、温暖、輕燥ノ地ニ適ス、故ニ寒地ニ之レナシ、

効用 船艦ニ必要ノ材ナリ、又、木理環紋ノ奇珍ナルヲ以テ、門扉、其他ノ器具ヲ造ル、又、樹性、香氣強キヲ以テ、根或ハ幹枝ヲ煎ジ、樟腦ヲ製ス、而シテ、其實ヲ以テ、蠟ヲ製スベシ、誠ニ利益アル植物ナリ、  
啓蒙博物學卷三終